【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	HBOC婦CQ6
対象	BRCA遺伝子保持者
介入	HRT使用
対照	HRT未使用

エビデンスの強さはRCTは"強(A)"からスタート、観察研究は弱(C)からスタート
* 各ドメインは"高(-2)"、"中/疑い(-1)"、"低(0)"の3段階
** エビデンスの強さは"強(A)"、"中(B)"、"弱(C)"、"非常に弱(D)"の4段階
*** 重要性はアウトカムの重要性(1～9)

エビデンス総体

								リスク人数(アウトカム率)											
アウトカム	研究デザイン/研究数	バイアスリスク*	非一貫性*	不精確*	非直接性*	その他(出版バイアスなど)*	上昇要因(観察研究)*	対照分母	対照分子	(%)	介入分母	介入分子	(%)	効果指標(種類)	効果指標統合値	信頼区間	エビデンスの強さ**	重要性***	コメント
乳癌発症リスク	観察研究/7	-1	-1	-1	-1	-2	0	2373	656	27.64	1077	274	25.44	OR	0.893	0-758-1.052	弱(C)	5	BRCA変異陽性者と陰性者の比較、RRSOについては問わない、HRTの内容もアンケート調査で不明確
副作用(HRTによる卵巣癌の発生)	症例対照/1	-1			-1	-1	0	412	120	29.1	125	42	33.6	OR	0.93	(0.56-1.56)	弱(C)		1論文しかなく一貫性等は評価不能？
副作用(HRTによる子宮体癌の発生)	コホート+症例対照/2	-2	-1	-1	-2	-1	0							OR	0.73	0.33-1.63	非常に弱(D)		2論文のデータの統合は不可
費用対効果	該当なし																		
患者の意向	該当なし																		
患者満足度(更年期症状)	横断研究1、症例対照2、コホート1/4	-2	-2	-1	-1	-1	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA				非常に弱(D)		HRTによるFACT-ESによる更年期症状。HRT群で値が高い傾向で更年期症状の改善が認められるが、データの統合は不可
患者満足度(骨粗鬆症)	症例対照/2	-2	-2	-2	-1	-1	0	163	94	57.7	45	14	31.1				非常に弱(D)		RRSO試行例においてHRTは骨粗鬆の発生率を低下させる
患者満足度(性機能)	コホート1+症例対照2,横断1,/2	-2	-1	-1	-2	-1	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA				非常に弱(D)		RRSO施行例において、HRTにより性機能の不快感が低下する傾向にある

コメント(該当するセルに記入)